

C大腸がん37

対象疾患	大腸がん	レジメン名	Bev+CPT-11+I-LV+L-OHP+5-FU療法 (Bev+FOLFOXIRI療法)		
1コースの期間 (休薬期間含む)	14日				
総コース数	制限なし				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食100 mL (ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1
2	アプレピタント125 mg (day 1)、 80 mg (day 2~3) ※ホスアプレピタント未使用の場合	1 Cap	経口		day 1 (125 mg)、day 2~3 (80 mg)
3	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			
	ホスアプレピタント150 mg ※アプレピタント未使用の場合	1 V			
4	デキサメタゾン4 mg	2 T	経口		day 2~4 (Max day 2~5)
5	ベバシズマブ (Bev)	5 mg/kg	点滴静注	90分 ※備考欄参照	day 1
	生食100 mL	1 P			
6	イリノテカン (CPT-11)	165 mg/m ²	点滴静注	60分	day 1
	生食250 mL	1 P			
7	レボホリナート (I-LV)	200 mg/m ²	点滴静注	2時間	day 1
	生食250 mL	1 P			
8	オキサリプラチン (L-OHP)	85 mg/m ²	点滴静注	2時間	day 1
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			
	5%ブドウ糖注射液250 mL	1 P			
9	フルオロウラシル (5-FU)	3200 mg/m ²	持続静注	48時間	day 1
	生食250 mL	※備考欄参照			
10	生食50 mL (フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
血管外漏出 リスク分類	Bev: 非炎症性 CPT-11: 炎症性 L-OHP: 炎症性 5-FU: 炎症性				
催吐性リスク分類	レジメン全体: 高度 (Bev: 最小度 CPT-11: 中等度 L-OHP: 中等度 5-FU: 軽度)				
インラインフィルターの 要不要	不要				
備考欄	※NK ₁ 受容体拮抗薬は、ホスアプレピタント150 mg/dayをday 1またはアプレピタント125 mg/day (day 1、抗がん剤投与開始1時間~1時間30分前)、80 mg/day (day 2~3、午前中)のいずれかを投与する。 ※Bevは、初回は90分かけて投与すること。初回時の忍容性が確認出来れば、2回目は60分で投与出来、さらに2回目も忍容性が確認出来れば、3回目以降30分で投与出来る。 ※CPT-11は60分での投与である。 ※I-LVとL-OHPは、CPT-11投与終了後より同時に投与開始する。 ※デキサメタゾン点滴静注の内3.3 mgは、L-OHPによる静脈炎予防のためL-OHPと混注する。 ※5-FUはインフューザーポンプを用いて持続静注投与開始するが、mFOLFOX6療法やFOLFIRI療法とは異なり全量240 mLとし48時間かけて投与すること。また、bolus投与はない。				